

アクイア認定 Cloud Platform Pro 学習ガイド

本資料は「アクイア認定 Cloud Platform Pro」試験の学習ガイドです。このガイドでは、試験の構成とトピックの解説、試験で出題される問題の性質を理解することに役立ちます。

1. [試験概要](#)
 2. [試験取得までの道のり](#)
 3. [試験ドメイン](#)
 4. [自己評価](#)
 5. [試験の準備](#)
 6. [リソース集](#)
-

1. 試験概要

試験名 : アクイア認定 Cloud Platform Pro
試験時間 : 60分
受験料 : 155ドル
問題数 : 40問
合格ライン : 65%

この試験は、Acquia Cloud Platform上でのDrupalウェブサイトのホスティングと保守の分野において、開発者としてのスキルおよび知識の検証を目的としています。

この試験は、受験者の次の能力を検証します。

- Cloud Platformが提供する機能への理解
- DrupalベースのサイトをホスティングするためのCloud Platform環境の設定
- Cloud Platformベースのサイトに最適な開発ワークフローの実現
- Cloud Platformの開発・デプロイのベストプラクティスの理解と実現

2. 認定取得までの道のり

Acquia Academyの製品紹介コースを受講する

試験を受験予定の全ての方は、Acquia Academyの入門コースに[無料でアクセス](#)できます。アクイアプラットフォーム初心者の方向けに次のコースを提供しています。Acquia Academyにログインしてご利用ください。

- [Cloud Platform Onboarding Learning Plan](#)
- [Cloud Platform Onboarding: UI Walkthrough](#)

実務経験を積む

コースを修了したからといって、認定試験を受ける準備ができていたとは限りません。試験を受験するためには、いくつかの実務経験が必要です。少なくとも2~3のプロジェクトに取り組み、実務経験を積むことをお勧めします。

自己評価を行う

試験を受けることを決めたら、試験でカバーされている領域とトピック、およびそれらの相対的な重みを勉強することをお勧めします。また、試験の構成でカバーされているドメイン/トピックに対して、自分の得意分野と不得意分野の[自己評価](#)を行う必要があります。

学習ガイドを活用する

自己評価に基づいて、いくつかのドメインやトピックの知識や経験を得る必要があるかもしれません。学ぶための最善の方法は、実際に作業したり、実験したりすることです。本ガイドの[試験の準備](#)や[リソース集](#)が参考になります。

試験を受ける

この段階で、あなたは試験を受ける準備ができています。 [アクイア認定 受験方法](#)のページにアクセスして受験方法を確認します。

3. 試験ドメイン

ドメイン	配分
1.0 基本的なウェブホスティング概念	15%
2.0 Cloud Platformの機能とインターフェース	35%
3.0 Cloud Platform上でのDrupal開発ワークフロー	35%
4.0 Cloud Platformのベストプラクティス	15%
合計	100%

4. 自己評価

試験のドメインとトピックに関して、スキルと専門知識の自己評価を行うことをお勧めします。各トピックに対して、あなたのスキルを0～10段階でランク付けします。知識や経験が全くない場合は0を、そのトピックを完全にマスターしている場合は10とします。

ドメイン	トピック	スコア
1	基本的なウェブホスティング概念	
1.1	ウェブホスティング設計に関する知識の実証	
1.2	Drupal開発ワークフローに関する知識の実証	
1.3	主要なセキュリティとパフォーマンス概念に関する知識の実証	
2	Cloud Platformの機能とインターフェース	
2.1	Cloud Platformの主要な機能への理解を実証	
2.2	環境の様々な側面を構成する能力の実証	
2.3	チームとユーザーを設定する能力の実証	
3	Cloud Platform上でのDrupal開発ワークフロー	
3.1	Cloud Platform上に新規のDrupalサイトをインストールする能力の実証	
3.2	ローカル開発環境をセットアップする能力の実証	
3.3	コード、データベース、ファイルを各環境へデプロイする能力の実証	
3.4	様々な環境でDrupalサイトの構成を管理する能力の実証	
3.5	ワークフローの自動化のためにCloud APIを使用する能力の実証	
4	Cloud Platformのベストプラクティス	
4.1	パフォーマンス強化に関するベストプラクティスへの理解を実証	
4.2	セキュリティに関するベストプラクティスへの理解を実証	
4.3	ライブ開発に関するベストプラクティスへの理解を実証	

5. 試験の準備

準備が必要なトピックのリストができたら、次の2つの課題に直面することになります。

1. トピックのための文書や知識のリソースを探して勉強する
2. 学ぶべきトピックを網羅した十分な実践的なケーススタディを見つける

知識リソース

Acquia Academyから、関連するトピックのコースを受講して知識をリフレッシュできます。

また、本ガイドの[リソース集](#)に、各学習領域のオンラインリソースとドキュメントのリストがあります。

6. リソース集

トピック別 参照資料

1.0 基本的なウェブホスティング概念

1.1 ウェブホスティング設計に関する知識の実証

- [Cloud Platformのアーキテクチャと主要な概念](#)
- [Cloud Platform](#)
- [Cloud Platform API](#)

1.2 Drupal開発ワークフローに関する知識の実証

- [コードの操作](#)
- [Cloud Platformでワークフローをコーディングする](#)
- [アクイアのrequire line](#)
- [本番デプロイのロールバック](#)

1.3 主要なセキュリティとパフォーマンス概念に関する知識の実証

- [セキュリティとコンプライアンス](#)
- [SSLで完全に保護されたサイトのベストプラクティス](#)
- [SSLとHTTPS](#)

2.0 Cloud Platformの機能とインターフェース

2.1 Cloud Platformの主要な機能への理解を実証

- [Cloud Platformの主要な概念](#)
- [Cloud Platform ProfessionalとCloud Platform Enterpriseの比較](#)
- [Cloud Platform CD](#)
- [Cloud Platformを使用したアプリケーションの管理](#)

2.2 環境の様々な側面を構成する能力の実証

- [環境の設定](#)
- [アプリケーションとインフラの監視](#)

2.3 チームとユーザーを設定する能力の実証

- [チームメンバーの管理](#)
- [役割と権限の操作](#)
- [デフォルトのCloud Platformユーザー権限](#)
- [カスタムロールの作成](#)

- [組織の操作](#)
- [Cloud Platformへのアクセス制御](#)

3.0 Cloud Platform上でのDrupal開発ワークフロー

3.1 Cloud Platform上に新規のDrupalサイトをインストールする能力の実証

- [Cloud Platformでのアプリケーションの作成](#)
- [Drupalディストリビューションのインストール](#)
- [既存のアプリケーションのインポート](#)
- [BLT](#)

3.2 ローカル開発環境をセットアップする能力の実証

- [Git/SQL-dumpを使用してCloud Platformにアプリケーションをデプロイする](#)
- [Acquia Pipelines](#)

3.3 コード、データベース、ファイルを各環境へデプロイする能力の実証

- [コードの操作](#)
- [Cloud Platformでワークフローをコーディングする](#)
- [ファイルの操作](#)
- [Drupalファイルシステムのバックアップ](#)
- [Cloud Platformでのファイル同期](#)
- [プロダクションモードを使用して本番サイトを保護する](#)
- [アクイアのrequire line](#)

3.4 様々な環境でDrupalサイトの構成を管理する能力の実証

- [環境の設定](#)
- [コマンドラインを使用したアプリケーションの管理](#)
- [Cloud PlatformのSSL](#)
- [Cloud Platform APIを使用した開発](#)

3.5 ワークフローの自動化のためにCloud APIを使用する能力の実証

- [Cloud APIの認証](#)
- [Cloud Hooksによる自動化](#)
- [Acquia Cloud Hooks](#)
- [Cloud PlatformでCloud Hooksを使用する](#)

4.0 Cloud Platformのベストプラクティス

4.1 パフォーマンス強化に関するベストプラクティスへの理解を実証

- [アプリケーションのパフォーマンス向上](#)
- [Fast 404を使用してDrupalのパフォーマンスを向上する](#)

4.2 セキュリティに関するベストプラクティスへの理解を実証

- [Cloud Platformへのアクセス制御](#)
- [ユーザー、チーム、役割、権限の管理](#)
- [セキュリティ設定の管理](#)
- [パスワード強度](#)
- [二段階認証の設定](#)
- [Cloud Platformアカウントに2要素認証を適用する](#)
- [IPアドレス許可リストを使用してアプリケーションを保護する](#)

4.3 ライブ開発に関するベストプラクティスへの理解を実証

- [他のツールを使用してコードを管理する](#)
- [ライブ開発モードを使用してインフラストラクチャのコードを変更する](#)
- [ライブ開発ワークフロー](#)

追加リソース

以下は、補足的な学習と実践のために提供される追加のリソースです。

Cloud Platformのインフラストラクチャ

[Cloud Platformのアーキテクチャと主要な概念](#)のページでは、Cloud Platformのアーキテクチャ、セキュリティ、高可用性、標準と規制への準拠に関する情報など、Cloud Platform の仕組みについて説明しています。

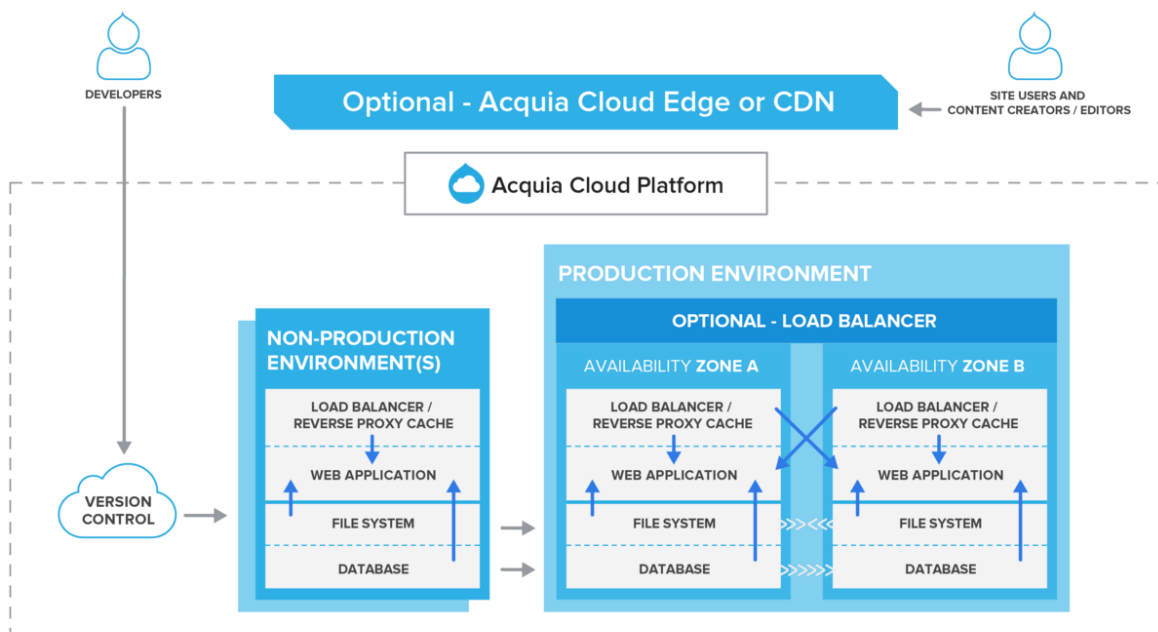
以下の2つの図に示すように、Cloud Platform EnterpriseとCloud Platform Professionalの両方のアプリケーションに、4つの主要なコンポーネントがあります。

- リバースプロキシキャッシュと負荷分散サーバー - Varnish/nginx
- Webサーバー - Apache、PHP、Drupalコード
- データベースサーバー - MySQL (Percona)
- ネットワークファイルシステム - GlusterFS

Cloud Platformアプリケーションのインフラストラクチャの正確な構成は、アプリケーションがCloud Platform EnterpriseまたはCloud Platform Professionalの一部であるかどうかなど、いくつかの要因によって異なります。

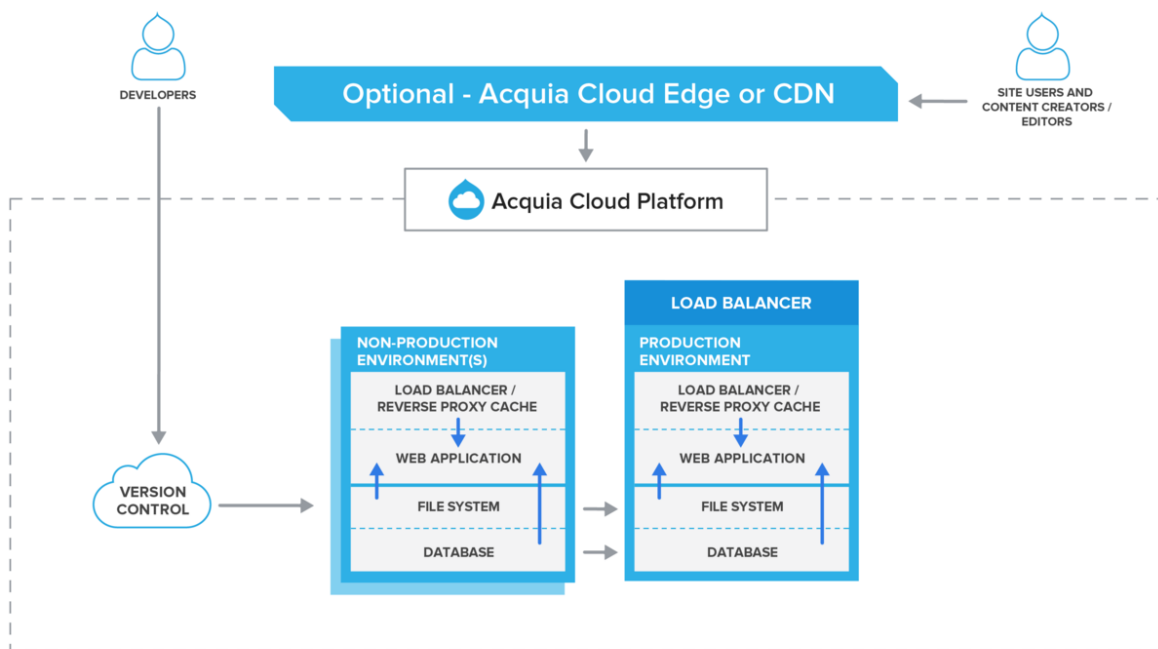
Cloud Platform Enterpriseのインフラストラクチャ

以下は、Cloud Platform Enterpriseの構成図と、さまざまなユーザープロファイルでコンポーネントが相互にやり取りする方法を示しています。



Cloud Platform Professionalのインフラストラクチャ

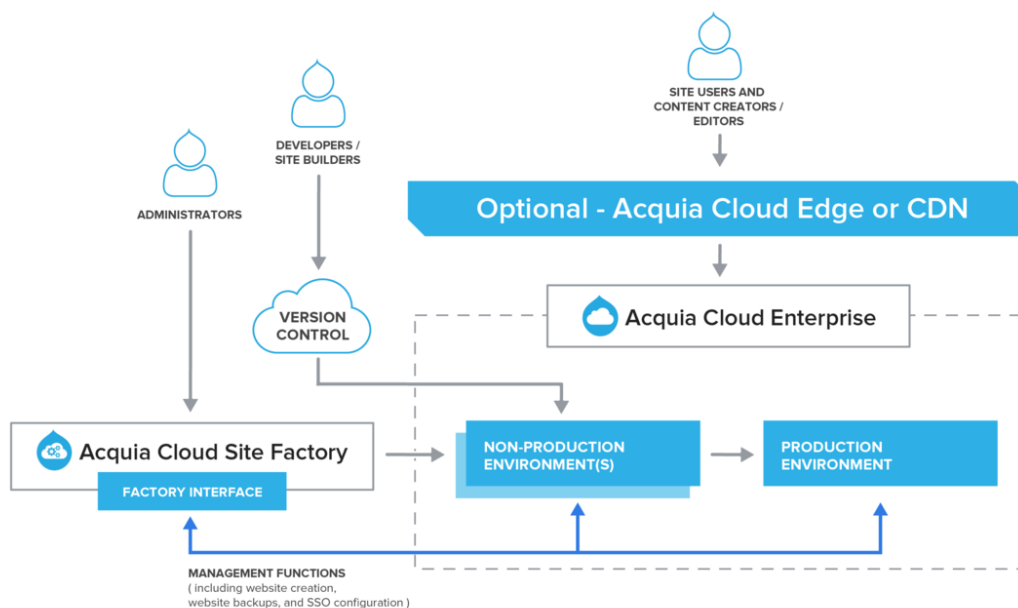
比較として、Cloud Platform Professionalアプリケーションとそのコンポーネントの相互作用の例を次に示します。



Site Factoryのインフラストラクチャ

[Site Factory](#)ページでは、Cloud Platform Enterpriseに基づいて構築されたSite Factoryのサポートされている機能と含まれている機能について説明しています。

次の図は、Site Factoryアプリケーションに使用されるインフラストラクチャと、そのコンポーネントが相互に対話する方法を示しています。



Acquia AcademyのCloud Platform解説動画

- [Cloud Platform Hands-On Demonstration](#)
- [Cloud Platform Onboarding: Learning Plan](#)
- [Cloud Platform Onboarding: UI Walkthrough](#)

キャッシュとVarnish

- [VarnishのためのDrupalキャッシュ設定](#)
- [Drupalのページキャッシュの仕組み](#)
- [キャッシュの概要](#)
- [Viewsのキャッシュ](#)
- [Varnishの使用](#)
- [Varnishの概要](#)
- [Varnishキャッシュのバイパス](#)
- [Cloud PlatformでのVarnishキャッシュのページ](#)
- [VarnishのVCL例](#)
- [特定のページ、ファイル、またはパスのmax-ageヘッダーを設定する](#)

- [Cloud Platform EnterpriseアプリケーションのカスタムVarnish設定](#)
- [Acquia Purgeのインストール](#)

本ガイドは以上になります。